

10109その他の食料品製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	14 ～ 15	製造室内にて、異音があったため、モーターが入っている部分の蓋を開け潤滑油を注入し、ギア部分の動きを確認、ウエスを落としたため取り出そうとしたところ、チェーンに指を巻き込まれ右中指を負傷する。ギア可動部の動作確認については電源を切り行うべきであったが、早く終わらせようと電源を切らずに作業を行ってしまった。	33	7	165	30～ 49人
2	2018	1	22 ～ 23	巻成型機で作業中、舍利バット（約17kg）を持ち上げた際、後方より具材を運んでいた台車が本人の腰部に勢いよく追突する。腰部に痛みがあり、筋膜性腰痛となった。	60	19	921	500 ～ 999 人
3	2018	1	6 ～ 7	出勤時、従業員駐車場にて、従業員入口へ向かって歩いているとき、雪で滑り右手を地面につき、右橈骨を折った。	74	2	417	1～9 人
4	2018	1	17 ～ 18	本社工場にて、作業終了後の片付け中に水槽とスライサーの間の通路で滑り、尻餅をついた際、左手をつき、左手首にひびが入った。	62	2	417	50～ 99人
5	2018	1	9 ～ 10	設計事務所の水道配管の凍結により、修理に行って脚立で天井の配管を撤去作業中に脚立から階段上に落ち、後頭部切り傷及び左肩甲骨を折った。	55	19	611	50～ 99人
			12	調理場内で給食のおかずを配缶後、釜の洗浄をしているとき、洗浄場所（壁と釜の間）の一部に溝蓋がなかったため、片足が溝に				10～

14	2018	3	15 ～ 16	冷蔵庫から取り出した硬いバターを不安定なバット状で包丁を使って切った際、手元が狂い包丁で指に切創を負い4針縫った。	69	8	364	1000 人 以 上
15	2018	3	18 ～ 19	工場内で一斗缶に入った原料を量り分ける作業をしているとき、所定の量を量り終えた後、缶を台に置く際に手が滑り左手の甲が缶の切り口に当たり、切ってしまった。	19	8	611	100 ～ 299 人
16	2018	3	10 ～ 11	事業所厨房で昼食の準備をしているとき、刻み食を作ろうと殺菌庫に、包丁、まな板を取りに行こうとしたところ、床面が滑りやすくタイルだったこともあり不注意で転倒、その際に左手手首を骨折した。	28	2	417	10～ 29人
17	2018	3	8 ～ 9	2階加熱調理場で腰の高さ程の調理釜で筍のボイル調理を行った。その後、その煮汁を廃棄する作業中、調理釜の右側の回転レバーを回し、釜を前面に傾け煮汁を流す工程で、急いで回転を速めたため、釜内の煮汁が勢いよく前面に流れ出した。防水性の足首近くまであるゴムエプロンをしていたにも拘わらず、その隙間を縫って高温の煮汁が右足の長靴内に入水し、右足部に縦7cm×横4cm程の範囲で皮がめくれた。	60	11	715	100 ～ 299 人
18	2018	3	17 ～ 18	作業終了後、工場別棟2階にある休憩室内のロッカー室にて、帰宅のため、作業服より私服へ着替えたのち、1階玄関へ階段を降下中、階段を降り切る直前にふいに左足に強い痛みが走り、歩行が困難となった。	56	2	413	100 ～ 299 人
19	2018	4	9 ～ 10	当社作業場で40kgの味噌樽を被災労働者と当社従業員の2名で持ち移動中、足下が見えづらい状態で、2cmの段差につまずき、右足をひねり捻挫した。	43	19	417	1～9 人
20	2018	4	11 ～	被災者は事業所茶畑にて機械での茶刈作業中に、茶刈機から茶袋を外してトラックに運ぶ際に、茶袋（重さ30kg）を両手でつかんで担ごうとしたときに右手拇指に袋の端がくい込んでひねり負傷	67	7	611	1～9 人

			12	する。				
21	2018	4	17 ～ 18	盛り場にて作業中、残った食材を冷蔵倉庫に入れるため、両手でバンジューを持ち冷蔵倉庫へ運んだ。冷蔵倉庫の入口に敷いてあったマットがたわみ右足を取られよろける。その際、左足をひねり、冷蔵倉庫に右半身をぶつける。	73	3	418	100 ～ 299 人
22	2018	4	20 ～ 21	工場内、納豆生産エリアにて、8～15kgの煮豆の入った袋を床から持ち上げて、2段積みの段ボール箱（高さ134cm）に入れる作業に従事していたところ、腰に痛みを感じ、急性腰痛の負傷をした。	49	19	921	—
23	2018	4	16 ～ 17	床の清掃中に、本人の不注意（野菜の残渣があることを知っていた）で野菜の残渣を踏んで滑り転倒した。転倒をした際に手首を打ち骨折した。	62	2	911	100 ～ 299 人
24	2018	4	12 ～ 13	休憩室の鉄の扉が勢いよく閉まるのを押さえようとして、誤って右手の小指を扉に挟み、骨折した。	28	7	418	30～ 49人
25	2018	5	10 ～ 11	次の配達予定場所の地図を確認するため2階へ向かう際に、声をかけられ気を取られ縁石に足をとられて左手をついて怪我した。	68	2	417	100 ～ 299 人
26	2018	5	10 ～ 11	学校調理場内でスライサーを使用し玉ねぎの仕込み作業を行っていた際、誤って右手中指を切ってしまった。	33	8	165	100 ～ 299 人
27	2018	5	14 ～ 15	休憩後、インナー帽子とマスクを交換するため歩いていると、流し台前で足を滑らせ、右膝関節を内側へ曲げてしまい負傷した。	32	2	417	100 ～ 299 人

28	2018	5	13 ～ 14	材料を台車に運んでいるときに足下が滑り、尻餅をついた際に胸に圧迫感があり、第11胸椎圧迫骨折となった。	62	2	417	300 ～ 499 人
29	2018	5	10 ～ 11	作業場で計量中、25kのキムチのタルを持ち右横に移動したとき、横に置いてあるタルに右手が当たり、タルに挟まれた状態で中指を痛める。	65	3	911	30～ 49人
30	2018	5	11 ～ 12	スライサーに原料肉を投入後、投入台から降りるため、体の向きを変えようとしたときにステップの縁で足が滑り転びそうになったので横のテーブルに手をつこうとした際、親指をテーブルにぶつけ負傷した。	43	2	417	100 ～ 299 人
31	2018	5	11 ～ 12	調理仕込み中に誤って左手人差し指を切った。	56	8	364	1～9 人
32	2018	6	17 ～ 18	工場で前処理作業中、ニーダーの釜を殺菌するため、計量カップに200ccの次亜塩素酸ナトリウム水溶液（原液）を用意していた。計量カップをニーダーの釜の上に置いていたところ倒れ、作業着の右腕上部に掛かったが、すぐに洗い流さずにいたため右腕全体に火傷を負った。	29	12	519	100 ～ 299 人
33	2018	6	7 ～ 8	従業員玄関で靴を脱ぐ際にバランスを崩し、尻もちをついた。	66	2	921	1000 人 以 上
34	2018	6	14 ～ 15	食品工場の麺製造ラインで製造終了後、機械の清掃・消毒を行う際、ロールを拭き取ったあと作業を中断し、一旦スイッチを入れてロールを動かし、停止を確認した。その後、ロールの残りの部分を拭き取るため、被災者がスイッチの操作をしたところ、ロール近くにあった清掃用タオルと共に左手人差し指と中指が挟まれた。	48	7	163	10～ 29人

35	2018	6	16 ～ 17	工場内、混合殺菌作業場の排水ピットで製品の洗浄作業後、パレットを片付ける際に足を滑らせ、排水ピットの鉄製枠に右脇腹を強打して、左膝をひねった。	54	1	414	100 ～ 299 人
36	2018	6	11 ～ 12	給食室で、使用した揚げ油の片付け中、誤って廃油缶の縁で右手親指を切った。	47	8	521	1000 人以上
37	2018	6	9 ～ 10	機械の掃除中に機械を動かして、指を挟んだ。	46	7	163	1～9 人
38	2018	7	23 ～ 24	番重洗浄作業中、台車に乗っている白パットを持ち上げようとした際、中腰で持ち上げようとした。	50	19	611	500 ～ 999 人
39	2018	7	10 ～ 11	工場内で、冷凍肉約10kgをミートチョッパーに入れようとしたところ、手が滑り、冷凍肉を右足太ももに落下させ負傷した。	32	4	611	30～ 49人
40	2018	7	11 ～ 12	小学校給食室にて牛乳保冷库上部のフィルターを清掃中、拭き掃除で使用していたタオルが付近の換気扇に触れ、左手人差し指と中指が巻き込まれた。	35	7	391	1～9 人
41	2018	7	11 ～ 12	受託先の厨房内で移動中、足を滑らせ転倒し、右大腿骨頸部を骨折した。	80	2	417	50～ 99人
42	2018	7	19 ～ 20	食品分析室にて検査作業中、エアコンをつけていたが煮沸滅菌を行っていたので、一時的に35℃の環境下で検査作業を行っていたところ、疲労からくる体調不良となった。	65	11	715	50～ 99人
			17					500

43	2018	8	18	工場内の2階野菜室で運搬作業中に、足下にあった台車に気付かず転倒し、左膝を強打した。	66	2	362	～ 999 人
44	2018	8	19 ～ 20	作業台上のアルコールを取ろうと体を反転させ踏み出そうとしたときに、右足を滑らせ転倒した。	46	2	417	300 ～ 499 人
45	2018	8	14 ～ 15	NPT冷蔵庫に入り、必要なスープを鉄板に乗せて、冷蔵庫の外に出ようとした際、足下にあった台車用のレールにつまずき、バランスを崩し前にあった棚に顔から激突した。	66	2	362	300 ～ 499 人
46	2018	8	13 ～ 14	卵スープ製造部で、攪拌釜へ液卵を投入する作業をしているとき、誤って器具をスープの中に落とし、とっさに拾おうとしてスープの中に手を入れてしまい、ゴム手袋と作業衣の隙間から熱いスープが入り込み、肘から手首にかけて火傷を負った。	27	11	165	—
47	2018	8	13 ～ 14	工場内にて器材の洗浄、消毒作業を行っていたとき、作業台より保管棚に持って移動中、足を滑らしそのまま倒れ、後頭部を打ち負傷した。	58	2	416	10～ 29人
48	2018	8	11 ～ 12	深絞真空機室で食品の包装作業中に、機械上でフィルムが詰まったため、手で取り除こうとしたときに上下に動いているカッターに触れ、左手人差し指第一関節上部を切断した。	35	7	169	300 ～ 499 人
49	2018	8	15 ～ 16	工場内現場で、清掃道具を持って清掃していたところ、下にあった配線に足がつまずいて前のめりに倒れて膝と鼻を打ち、左膝は骨折していた。	66	2	311	100 ～ 299 人
50	2018	9	0	終業後、洗濯室前の廊下を歩いていて、床が濡れていたため滑って転倒した際、右手の甲側からついたため、右手首を亀裂骨折し	59	2	417	—

			1	た。				
51	2018	9	11 12	原料の小分け作業で分割、投入作業を行った後、香料小分け作業のため計量をする際、一斗缶5.73kgを持ち上げたところ、腰に痛みが走った。	36	19	611	300 ～ 499 人
52	2018	9	11 12	豆腐屋の揚げ物工場内にてがんもどきを製造中、機械の一部に野菜が挟まり取ろうとした際、左手人差し指を挟まれて第一関節より上の部分が切断された。	47	7	165	1～9 人
53	2018	9	7 8	休憩時、2階の食堂へ行くために階段を上っていたところ、右足を痛めた。	55	19	921	100 ～ 299 人
54	2018	9	19 20	工場出荷場のプラットホームで作業中、プラットホームを降りる階段で足を踏み外し、転倒した際に腰を強打した。	69	3	413	30～ 49人
55	2018	9	11 12	ごま充填用ロータリーポンプを清掃中、ポンプの動作を停止しなかったため、左手人差し指を回転部に誤って入れてしまい骨折した。	29	7	165	30～ 49人
56	2018	9	5 6	事業場の駐車場内を歩いているとき、高さ約3cmのゴム製の車止めめに右足を引っ掛けてつまずき転倒した際、右手を地面に強打し骨折した。	65	2	417	30～ 49人
57	2018	9	6 7	ブロワのVベルトを目視で点検中、安全カバーの点検口に手を入れ、緩やかに回転するVベルトの上面を右手で押さえつけて止めようとした際、ベルトが止まらず右手が回転方向に持っていかれて、ベルトとプーリーの間に右手人差し指が挟まれた。	23	7	121	100 ～ 299 人
58	2018	9	14	夕食献立の食材を冷凍室に取りに入り、外に出ようとしたところ、冷凍室の床の段差で足が滑り、両腕裏側と腰を打撲した。	25	2	417	30～ 49人

66	2018	9	11 ～ 12	ごま充填用ロータリーポンプを清掃中、ポンプの動作を停止しな かったため、左手人差し指を回転部に誤って入れてしまい骨折し た。	29	7	165	30～ 49人
67	2018	9	5 ～ 6	事業場の駐車場内を歩いているとき、高さ約3cmのゴム製の車止 めに右足を引っ掛けてつまずき転倒した際、右手を地面に強打し 骨折した。	65	2	417	30～ 49人
68	2018	9	6 ～ 7	ブロワのVベルトを目視で点検中、安全カバーの点検口に手を入 れ、緩やかに回転するVベルトの上面を右手で押さえつけて止めよ うとした際、ベルトが止まらず右手が回転方向に持っていかれ て、ベルトとプーリーの間に右手人差し指が挟まれた。	23	7	121	100 ～ 299 人
69	2018	9	14 ～ 15	夕食献立の食材を冷凍室に取りに入り、外に出ようとしたとこ ろ、冷凍室の床の段差で足が滑り、両腕裏側と腰を打撲した。	25	2	417	30～ 49人
70	2018	9	12 ～ 13	液体工場小袋充填室で充填機の清掃中、シール装置に濡れた液の 拭き取り作業をしているとき、寸動ボタンと停止ボタンを同時に 押してローラーを少しずつ動かしながら行っていた。その際、動 きだしたローラーにゴム手袋ごと引き込まれ、左手人差し指・中 指・薬指をシール装置に挟まれた。	19	7	169	100 ～ 299 人
71	2018	9	5 ～ 6	工場内の麦面ラインの前で作業中、具材が落ちていたため掃除を 始めたところ、足を滑らせて転倒し、背中から落ちたために背骨 にヒビが入る怪我を負った。	78	2	416	500 ～ 999 人
72	2018	10	16 ～ 17	食品製造工場ですライサーの清掃中、スライサーの刃と本体の隙 間に残った食品を取り除く際、電源を切らずにスライサーが回転 したまま、竹串を使って取っていた。その際、竹串が刃の隙間に 挟まり、左手人差し指が引っ張られ、指先が切断された。	28	8	165	100 ～ 299 人
73	2018	10	7 ～	トラックで配送作業中、交差点で信号が黄色から赤に変わったと き、停止できずにそのまま直進したところ、左側から右折のため	40	17	221	10～

			8	赤信号中に交差点へ進入してきた相手車両にぶつかった。				29人
74	2018	10	13 ～ 14	斎場裏の搬入口から荷物を車に積もうとして、階段を下りる際に足を踏み外し、左足首を骨折した。	30	1	413	—
75	2018	10	9 ～ 10	中学校調理室でカボチャ表面の凸凹を包丁で取り除いていたとき、包丁が左手親指に接触して切創を負った。	51	8	364	1～9人
76	2018	10	11 ～ 12	給食センター厨房内で、清掃中に床で滑って転倒し、頭部を打った。	42	2	417	50～99人
77	2018	10	11 ～ 12	店舗作業場で原料の成形作業中に包丁が滑り、左手人差し指を切った。	37	8	364	50～99人
78	2018	10	11 ～ 12	小学校敷地内にある倉庫へ段ボールを取りに行く途中、マンホールにつまずいて左足をひねった。	46	19	711	10～29人
79	2018	10	11 ～ 12	被災者は、作業場で菌掻き作業（キノコの菌糸を切って成長を促す作業）の研修を受けていた。キノコ栽培瓶を入れたコンテナを搬入する際、機械から異音がしたため搬入停止ボタンを押し、機械下にあるブラシ駆動用チェーンを確認しようとした。本来は非常停止ボタンを押すべきところ、被災者は搬入停止ボタンを押してしまったため、ブラシ工程部が突然動き出し、機械の隙間に左人差し指を挟んだ。	53	7	169	10～29人
80	2018	11	13 ～ 14	工場内で、製麺切り出し機に溜まった残粉を取り除く際、製麺切り出し機を停止せずに作業をしたため、白衣が製麺切り出し機のベルトに引っ掛かり、左腕をぶつけて骨折した。	61	7	165	30～49人
			10					

81	2018	11	11	工場フライヤー室Aラインで製品の切り替え作業中、約30cmの高さから足を踏み外して転倒し、肋骨を折った。	38	1	165	50～ 99人
82	2018	11	14 15	給食室で片付け中、食缶を釜の中から出したときに熱湯が長靴の中に入り、左脹脛に火傷を負った。	57	11	611	30～ 49人
83	2018	11	17 18	焼売成型機を操作中、機械が停止していると勘違いして、スクリュウを取り出して中に入っている肉を取り除こうとし、右手をホッパーの中に入れたところ、右手薬指を切断した。	46	7	165	—
84	2018	11	20 21	工場内の炊飯室で、炊飯業務中に機械に不具合があり、手で炊飯釜を移動させようとしたとき、不具合箇所に素手で触れてしまい、左手中指を挟んだ。	33	7	159	50～ 99人
85	2018	11	15 16	食品工場内で製造器具を洗浄するため、運搬台車に桶を積んで移動中、桶が滑って台車が傾き、桶から熱湯が溢れて両足脹脛に掛かった。	31	11	713	50～ 99人
86	2018	11	8 9	詰め込み作業が終わり、水拭き掃除をするため、バケツに水を入れて後ろに下がったとき、日差し・雨除け用テントの骨組みに接触して転倒した。	33	2	419	100 ～ 299 人
87	2018	12	11 12	休憩室で席を立とうとした際、机の脚に右足を引っ掛けて転倒した。その際、右肩と右膝を強打し、骨折と打撲を負った。	64	2	379	100 ～ 299 人
88	2018	12	9 10	工場加工場にて、ライン作業中に台車をどかさうと右足を掛けた際に引っ掛かって転倒（尻餅）し、左腰部分に打撲を負った。	64	2	362	500 ～ 999 人
			12					

89	2018	12	12 ～ 13	食堂で歩いていたところ、弁当等を載せる台車に足がぶつかり、滑って転倒した際、右膝を床に打ちつけ、骨折した。	64	2	362	50～ 99人
90	2018	12	12 ～ 14	工場から出る際、入室する人とすれ違ったため、ドアを開けておこうとしての蝶番に指を挟み、骨折及び挫創を負った。	64	7	418	10～ 29人
91	2018	12	19 ～ 20	炒飯製造ライン包装工程で、製造終了後の床面清掃を行うため、他の従業員と前後に並び、話をしながら歩いていた。傾斜のある床面のきわを歩行していたため、足を滑らせ、バランスを崩して転倒した。その際、右手に持っていたモップ洗浄用バケツの上に覆い被さる形で右脇腹を強打し、肋骨を折った。	64	2	417	30～ 49人
92	2018	12	8 ～ 9	包装エビ投入作業時に、アルミトレイを抱えた状態で作業台（高さ30cm程度）から足を踏み外し転落した。アルミトレイを抱えていたため、受け身を取ることができず、膝から床に落ちた。	64	1	379	50～ 99人
93	2018	12	4 ～ 5	デザート包装室前方のはさみを取りに、仕分け室からデザート3ラインと4ラインの間を歩いていた際、グレーチングで滑って転倒、右手を床について手首を骨折した。	64	2	416	300 ～ 499 人
94	2018	12	10 ～ 11	4トン車の荷台にコンテナを直置きし、資材倉庫の入口につけ、搬入口の高さ調整用のテーブルリフター上にパレットを置き、荷台と同じ高さに合わせて、コンテナを押しながらパレットに移し替えを行っていた。その際に、荷台と搬入口の隙間（約10センチ）に足が滑り落ち、コンテナ7段重ねと同時に後ろ向きに倒れ、先に転倒したコンテナで頭頂部右側を強打し負傷した。	64	2	221	100 ～ 299 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。